



オオカミと七匹の子ヤギ

グリム童話

絵：mercy lokki

リライト：萩原徹郎

ディレクション：新宮文明

レイアウト：渋谷良久

制作：株式会社  **LIVEWORKSHEETS**



ある日、お母さんやギが
七匹の子供たちに言いました。

**おるすばんを頼むわね。
こわいオオカミが来たら、
決してドアを開けてはだめよ。**

お母さんは
出かけて行きました。



しばらくすると、ドアをたたく音がします。

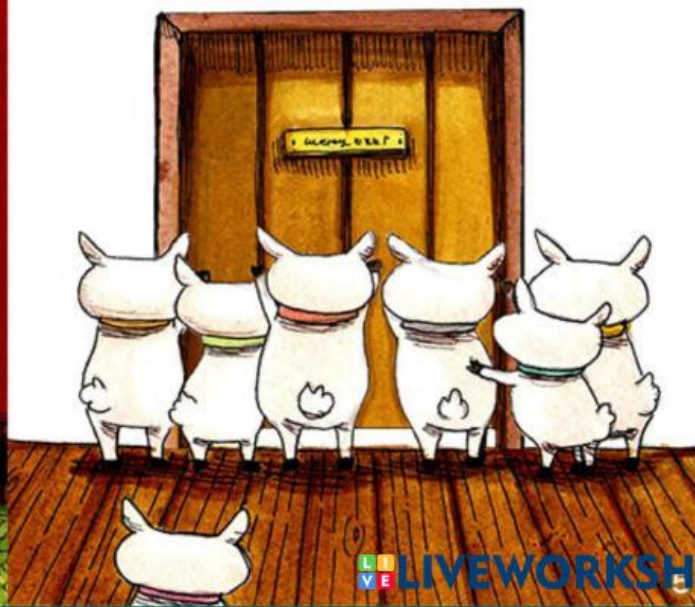
お母さんだよ、ドアをあけておくれ。



子ヤギたちは叫びました。

お母さんは、もっとやさしい声だよ。

ガラガラ声のお前は、オオカミだ!



そこで、オオカミは
千ヨークの粉を飲んで声まねをしました。

みんな、お母さんだよ。

でも、ドアの下から見えるのは黒い足です。

この足はオオカミだ!

オオカミは、手足に白い小麦粉を
つけて、またやって来ました…

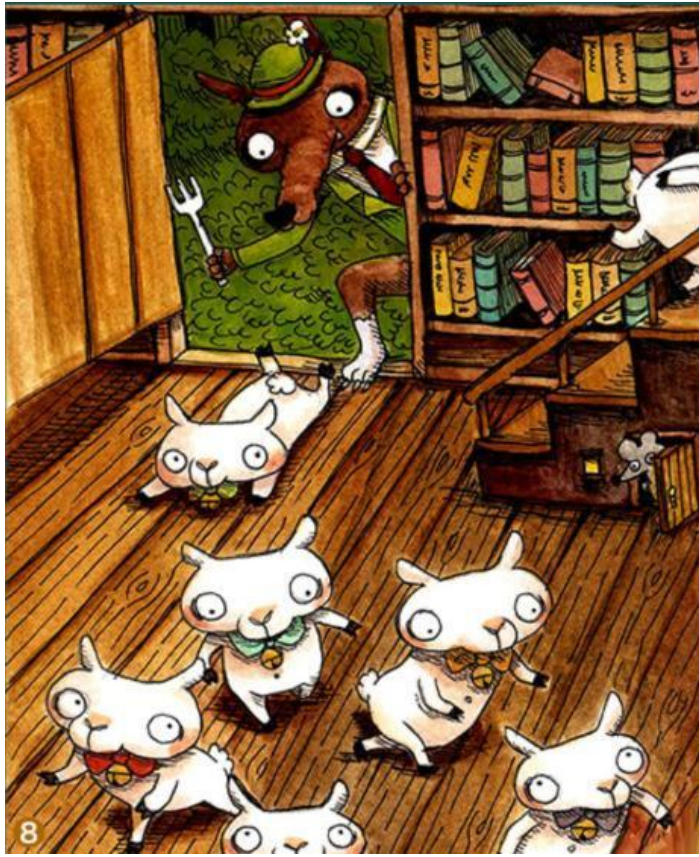


6

お母さんだよ、今帰ったよ。
やさしい声、手足もまっ白です。



LIVEWORKSHEETS



わあ～い、お母^{かあ}さんだ!

ドアを開^あけると、そこに
いたのはオオカミです。
子ヤギ^こたちは、逃^にげたり
か^にくれたりしましたが、
オオカミに食^たべられてしまいました。

おなかがいっぱいにな^にったオオカミは
木^きの下^{した}でグ～グ～大^{おお}いひきで
昼^{ひる}寝^ねをはじめました。





かえ かあ
そこへ帰ってきたお母さんヤギは
ひっくり。子ヤギたちの姿が見えず、
名前を呼んでも返事がありません。

とき にかい いちばんちい こ
その時、二階から一番小さな子ヤギの
声が聞こえてきました。

かあ
お母さん、ほくはここだよ。

はしらどけい なか
柱時計の中にかくれて
いっぴき たす
一匹だけ助かったのです。



そして、外で寝ているオオカミを見ると、
ふくれたおなかがピクピク動いています。

子供たちはまだ生きてるわ!

お母さんヤギが、ハサミでオオカミの
おなかをジヨキジヨキ切ると、

中からはピョン!ピョン!と次々に
子ヤギたちが飛び出してきました。



みんな無事かい？

うん、こわかったけど大丈夫だよ。

お母さんは言いました。

みんな、石ころをたくさん探して来ておくれ。



お母さんは、
子ヤギたちが
あつめて来た石ころを
オオカミのお腹に
いっぱいつめて、

針と糸でぬい合わせて
おきました。



やがて、オオカミが目をさました。
あ～あ、今日はよく食ったし、よく寝たな。
のどもかわいた、水でも飲むか。



そして池の水を飲もうとしたとたん、
サッブーン!とお腹の重みで落ちて
沈んでしまいました。

こわいオオカミがないので、
ヤギたちは安心してぐらしました。

END

